

佐賀県立有田工業高等学校校歌

高田保馬 作詞

山本寿作 作曲

朝風清き泉山
瀬の音高き白川や
地は西海の涯なれど
我等が誇り思ひ見よ

史に見えたる名は永く
海の彼方に輝ける
誉れ普く陶業の
道は我等の身を伝ふ

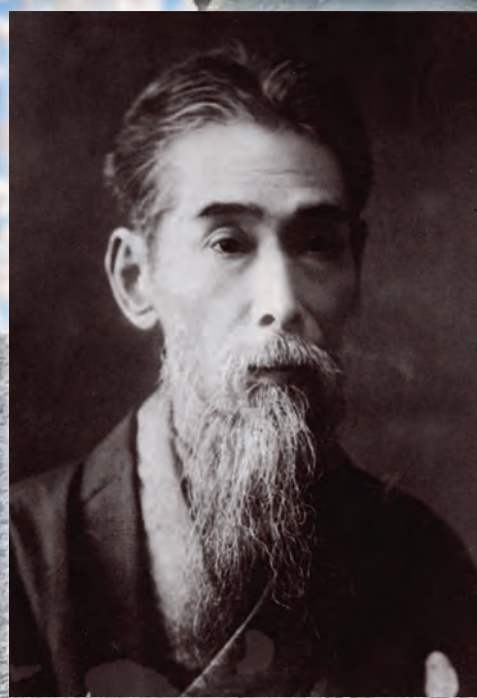
伝統のすぢ高けれど
なほも積みゆく創造の
苦しみ日々に尽きざれば
工は永きわれらなり

あゝ柿右エ門何人ぞ
この日本の工芸の
精を双手に集むべき
我等が望み誰か知る

勉 脩 藝 舎

焼く書

本校の校歌は、大正十四年に創立二十五周年記念として作られました。



創造への
情熱と勇気
明治十四年夏有田
は今の有田町白川に陶
工芸学校を開き勉脩
と称した命名は皇族有
熾仁親王染筆の扁額
による
創設の主唱者は初
白川小学校長江越礼
実学を信奉した江越
西の新知識を子弟に学
室業界に新風をも願
私財を投じた奔走七年
がて地元窯焼き在京
治家副島種臣大隈重
らの賛同と寄金を得
国初の職工学校とし
実した。校歴は十年余
の間秀抜の陶芸家を
出し
有田
思
創造
ゆき
加え
の命
の歴
と勇
と偉
花
の焼
と偉

納富 介次郎 (のうとみ かいじろう 1844~1918)
国内に4つの工芸・工業高校を創設しました。石川県立
工業高校(石川県)・高岡工芸高校(富山県)・高松工芸高
校(香川県)の校長として歴任した後、本校の初代校長
として就任しました。日本の工芸・デザイン教育の基盤
を築いた偉大な人です。